

だんだん

スポーツの秋 健脚を競う!

9月29日(土)、陸上競技場で十日町長距離カーニバルが開催されました。第20回を記念して行われたこの大会には、市内外から約1,100人が参加し、健脚を競いました。また、2004アテネオリンピック5000m・10000mに出場した福士加代子選手も招待選手として来市しました。(関連記事22ページ) ※写真は中学男子3000m



主な内容

- 自立と協働 各地域協議会の紹介 2-3
- 交通安全都市宣言／まちづくり出前講座新メニュー 4-5
- 十日町市の18年度決算 6-11
- 19年度公民館まつり 12-13
- 中越大震災記録集編集概要／総合防災訓練ほか 14-15
- 地域の風～支所からのたより～ 16-17
- ときめきネットワーク ほか 18-19
- 後期高齢者医療制度／AEDサポート事業所 20
- まちの話題 TOPICS ほか 21-23
- お知らせ・ガイド 24-27
- ジュニア芸術祭 十日町小学校 28

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

自立と協働

1

地域協議会から

平成17年の市町村合併の際、地域の個性を尊重し、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりや住民の声を市政に反映させることなど、住民と行政による協働のまちづくりの担い手（地域自治組織）の育成を図るため、市の付属機関として地域協議会が設立されました。今年度から十日町市全体で11の地域協議会が設置され、定期的に会議を開催し、地域の課題や自分たちの地域のまちづくりについて活発に議論をしています。

地域協議会の役割

地域活動の現状は、地域住民のニーズが多様化しているなかで、生活の個別化が進んだことから地域共有の問題としてまとめていく力は弱くなっています。今後ますます少子高齢化や過疎化が進むことにより、地域コミュニティを維持していくことが困難な状況になります。市の財政事情が厳しくなる中で、地方分権の拡大に伴い地方の力が問われる時代になっています。このような社会の大きな変革期に対応するため、住民参画による地域の自立的運営や官民協働による地域づくりが求められ

ており、地域協議会の役割は一層重要なものと位置付けられています。地域協議会では、現在、地域全体のまちづくりについて真剣に議論し、住みよいまちづくりを目指して取り組んでいます。いろいろな情勢変化の中でも、地域内の支え合い、協働などによって地域の価値・魅力を磨き、真の豊かさを目指すまちづくりがスタートしたばかりです。

十日町市 地域振興基金の設置

今年度からの新しい取り組みとし

「まち・むらトーク」 の運営

昨年度から始めた「まち・むらトーク」は、おおむね地域協議会単位に市長が出向いて、住民参画と協働のまちづくりなどについて市民の皆さんと意見交換を行い、ともに理解

で、合併特例債を財源とした十日町市地域振興基金を積み立てることにしました。平成19年度中に4億円を積み立て、20年度以降は市の財政状況に応じて積み増しを検討します。基金運用については、利子分についてその活用内容を各地域協議会でも検討することになります。

まちづくり活動費 助成事業の審査

まちづくり活動助成事業は、市民の皆さんが自ら考え行うまちづくりを応援するため、市内で地域づくり活動に取り組む団体が行う事業に対して助成する制度で、各地域協議会が所管内の申請事業を審査します。これに基づき、各団体が人材育成活動や地域間交流、地域活性化イベントなどの地域づくり活動などに取り組んでいます。

地域協議会 連絡協議会が 開催されました

それぞれの地域協議会の連携や情報交換、地域自治組織のさらなる研究などを目的に11地域協議会の会長によって構成される「十日町市地域協議会連絡協議会」が設置されました。

今年度はこれまで2回の会議が開催され、市との協働事業や地域生活交通基本計画の概要、地域情報化の現状、合併地域振興基金の活用などが協議されました。また各地域協議会の活動状況などの情報交換を行い、活動の連携を深めています。

■問合せ
総合政策課自治振興係
（☎757-3193）
十日町地域の各公民館
各支所地域振興課自治振興係

各地域協議会の紹介

本号から、各地域協議会の活動状況や地域のまちづくりへの取組みなどリレー形式で掲載します。

松之山地域協議会

◆◆委員の構成と主な協議◆◆

松之山地域協議会は、松之山地域の6地区の地区協議会代表者、商工会や観光協会の公共的団体の代表者及び有識者として各界から6人、また公募による委員6人の合計20人体制で、おとし8月の発足以来、今年9月までに25回の協議会を開催しています。

昨年度までは、市からの諮問事項のほかに、主に合併後の松之山の地域づくりを進める基礎的な協議を進めてきました。

◆◆今年度の取り組みとこれから◆◆

今年度から松之山地域の振興を目指した具体的な作業を始め、まず松之山の自立した地域の組織「松之山地域振興会」の組織づくりを進めました。この振興会は、6地区の代表者はもとより、地域内の様々な団体の代表者により組織されており、広く地域の意見を集め、振興策につなげることとしています。

今後は、地域協議会と振興会が「車の両輪」となって松之山の地域づくりを進めていきます。



十日町地域協議会

十日町中学校区63町内の地域から選任された25人の委員で十日町地域協議会は構成されています。月1～2回の幹事会、委員会を開き、地域の自立的運営や官民協働による地域づくりを目指しています。また、市の重要な事項についての答申や中越大震災復興基金、地域振興基金の活用などで中心市街地の活性化を図る振興策を構築すべく検討を重ねています。今後、まちづくりの再生には各商店街振興組合や各地区振興会など、住民の地域コミュニティーが不可欠です。皆さんのご意見をお近くの当協議会委員へお気軽にお寄せください。

◆◆主な活動状況◆◆

■「安全・安心の生活環境づくり（旧娯楽会館アスベスト対策）」について市長へ意見書を提出

■「まちづくり活動費助成事業」申請受付・採択審査

【まちづくり助成事業採択結果】

- ・ほくほく線10周年記念仮装盆踊り大会（新座地区振興会）
- ・第1回東部地区親善ソフトボール大会（東部地区体育協会）
- ・十日町市民族無形文化財赤倉神楽伝承推進事業（赤倉神楽保存会）

※まちづくり助成事業は1回目の募集で予算額に達しませんでしたので11月に再募集します。奮ってご応募ください。

■「まちづくり出前講座」受講
・新潟県中越大震災復興基金事業について（総合政策課）

■「まち・むらトーク」開催準備
・11月8日(木)午後7時～市民会館で開催します。テーマはズバリ「どうする？中心市街地活性化」。大勢のお越しをお待ちしています。

〈十日町地域協議会委員〉	
役職名	氏 名（備考）
会 長	水 落 明 （南部地区振興会）
副会長	大久保 強 （新座地区振興会）
幹 事	柳 光 政 （十日町商店街振興組合）
〃	中山 博 （中央地区）
〃	阿 部 武 市 （東部地区振興会）
〃	桜 井 弘 志 （田川町地区振興会）
〃	庭 野 忠 郎 （美佐島地区振興会）
〃	柳 邦 男 （新座地区振興会）
委 員	矢 口 辰 幸 （南部地区振興会）
〃	樋 口 孝 二 （南部地区振興会）
〃	小 川 文 江 （妻有踊り隊・華焰）
〃	星 野 景 子 （NPO法人なかまたち）
〃	宮 入 正 吉 （昭和町商店街振興組合）
〃	水 野 美 奈 子 （本町2丁目商店街振興組合）
〃	村 山 隆 義 （中央地区）
〃	尾 身 勇 （中央地区）
〃	金 崎 和 子 （中央地区）
〃	西方勝一郎 （東部地区振興会）
〃	春 川 熊 二 （東部地区振興会）
〃	湯 沢 辰 三 （田川町地区振興会）
〃	池 田 誠 （美佐島地区振興会）
〃	大 津 敏 和 （新座地区振興会）
〃	尾 身 省 吾 （新座地区振興会）
〃	大 島 浄 子 （新座地区振興会）
〃	池 田 孝 子 （新座地区振興会）

十日町市まちづくり出前講座好評！

新メニューが加わりました



美佐島分館で開催されたりサイクルについての出前講座

まちづくり出前講座実施内容（9月末現在）

講座メニュー	担当課	回数
中越大地震復興基金事業を活用したまちづくり（オーダーメイド）	総合政策課	6
十日町市の財政状況	財政課	3
高齢者のためのいろいろなサービス	福祉課	2
その他（高速情報通信網基盤整備事業など各1件）	各課	7

十日町市まちづくり出前講座は、市が行う業務について、12部門・73のメニュー（講座テーマ）を用意し、受講を希望する団体から依頼を受けて担当職員が出向いて講座を行っています。

市民と行政がともに学び、協働しながら活力あるまちづくりを進めるため、市では今年度から「十日町市まちづくり出前講座」を実施しています。これは、市の職員が市民の皆さんのところへうかがって、市の事業や現状について会話をしたり、まちづくりについて意見交換をしたりする講座です。この半年間、市内の18団体から依頼があり、延べ約400人の皆さんが参加しました。

これまで依頼のあった講座を踏まえ、今回、新たに3つの講座メニューを追加しましたのでお知らせします。

まちづくり出前講座追加メニュー

テーマ	概要	担当（連絡先）
震災復興基金事業を活用したまちづくり	中越大地震で被災した地域の自立的復興のため、復興基金を活用したまちづくりや魅力ある地域に再生するためのプランづくりのメニューを紹介します	総合政策課自治振興係 (☎757-3193)
震災復興に向けた取り組み	復興基金事業の紹介と復興に向けた取り組みの相談	防災安全課震災復興係 (☎757-3197)
水とエネルギーの循環路・下水道	私たちの暮らしに必要な水と下水道の役割	上下水道局下水道維持係 (☎757-3115)

既存メニューの中に希望する講座がないときは、希望に応じた内容で別メニューを用意します。これまでの依頼では、中越大地震復興基金事業を活用したまちづくりについてや上下水事業など環境に関する講座の要望が多いことから、次の3つの講座を新たに設けました。

まちづくり出前講座実施要領

●申込対象者

市内在住の人で、5人以上のグループや団体です。

●講座の開催日時

講座の開催は、平日・休日を問いません。（ただし、12月29日～1月3日、3月31日及び4月1日を除く）開催時間は、午前9時から午後10時までの間で、おおむね2時間以内です。なお、準備などの都合により、時間を変更することがあります。

●講座の開催場所

開催会場は、申込者で用意してください。

●講座の内容

・講座メニューや申込先などの詳細は、市役所本庁・支所・公民館や情報館に設置するパンフレット及び市報平成19年3月25日号をご覧ください。また、市のホームページにも掲載しています。

・まちづくり出前講座は無料です。ただし、会場の確保や有料資料などで費用が発生する場合は、申込者の負担になります。

・飲酒などを伴いながらの講座は行いません。

・その他、まちづくり講座の趣旨に合わない場合は、行わないことがあります。

交通事故をなくそう！ 交通安全都市宣言



9月22日(土)、キナーレを会場に「交通安全都市宣言」が行われました。

宣言は、市民一人ひとりが交通ルールを守り、悲惨な交通事故をなくすことを目標に制定されました。式典では、ミス十日町雪まつりの太田真由美さんが宣言文を朗読し、田口市長、十日町警察署長らが宣言懸垂幕を披露しました。

式典後には、「いきいきクラブチャレンジ100」の出発式が行われ、その後、十日町中学校、南中学校の吹奏楽部を先頭に、式典参加者約350人が、交通安全パレードを行いました。

宣言文

交通事故のない安全で住みよいまちの実現は、市民共通の願いです。私たち十日町市民は、交通ルールを守り、交通事故のない安全で安心して生き生きと暮らせるまちの実現に努力することを決意し、ここに十日町市を「交通安全都市」とすることを宣言します。

平成19年9月22日



「自転車安全利用5則」を知っていますか？

昨年の県内自転車事故の死者構成率は、過去10年間で最高の14.9%でした。自転車を利用するときは、次のことを守りましょう

- ①自転車は車道通行が原則です。
- ②車道の左側通行です。
- ③走行可能な歩道では歩行者を優先し、車道寄り徐行です。
- ④飲酒運転・2人乗り・並進は禁止。夜間はライトを点灯し、交差点では信号を守り一時停止して、安全確認をしましょう。
- ⑤子どもはヘルメットを着用しましょう。

あなたの交通マナーはだいじょうぶ？

- 運転手の皆さん、
- ◆黄色信号で停止していますか？
 - ◆交差点では歩行者を優先していますか？
 - ◆一時停止の交差点では停止していますか？
 - ◆狭い道でスピードを出していませんか？
 - ◆違法駐車をしていませんか？

交通事故を無くすために、ひとり一人が交通マナーを守りましょう。そしていつもゆとりを持って運転しましょう。

市報とおかまち『だんだん』平成19年10月10日号 6

(単位：万円・％)

19年度一般・特別会計の7月末予算執行状況

一般会計と特別会計の7月末予算執行状況は右表のとおりです。一般会計は、明許・事故繰越分を含む7月末の予算額329億8,458万円に対して収入済額112億4,361万円（収入率34.1％）、支出済額68億3,967万円（執行済額20.7％）となっています。

また、特別会計は、7月末予算額230億7,144万円に対して収入済額60億3,959万円（収入率26.2％）、支出済額49億2,875万円（執行率21.4％）となっています。

会 計 名		7月末予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般 会 計		329億8,458	112億4,361	34.1	68億3,967	20.7
特 別 会 計	国民健康保険	59億6,039	16億4,751	27.6	15億6,869	26.3
	国民健康保険診療所	4億2,965	9,731	22.6	1億1,527	26.8
	老 人 保 健	64億8,633	18億9,192	29.2	17億5,704	27.1
	介 護 保 険	47億6,448	15億6,996	33.0	11億7,448	24.7
	簡易水道事業	13億8,862	2億6,821	19.3	6,796	4.9
	下 水 道 事 業	35億3,754	4億2,890	12.1	2億1,059	6.0
	農業集落排水事業	5億0,443	1億3,578	26.9	3,472	6.9
計		230億7,144	60億3,959	26.2	49億2,875	21.4
合 計		560億5,602	172億8,320	30.8	117億6,842	21.0

公共事業契約状況

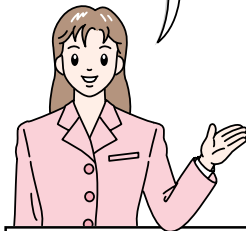
19年度7月末の全会計の投資的事業予算額70億2,401万円に対して、契約済額は37億4,132万円（契約率53.3％）となっています。

(単位：万円)

事業区分	7月末予算額	契約済額(契約率)
補助事業	26億2,470	14億6,586(55.8％)
単独事業	43億9,931	22億7,546(51.7％)
合 計	70億2,401	37億4,132(53.3％)

※上記の事業には災害復旧事業も含まれます。

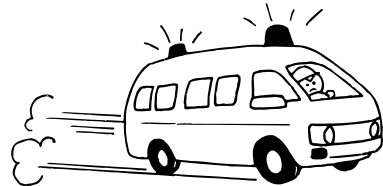
住民1人
当たりの19年度
予算額は…



一般会計7月末の予算額を、平成19年3月末住民基本台帳人口62,371人で割った金額です。

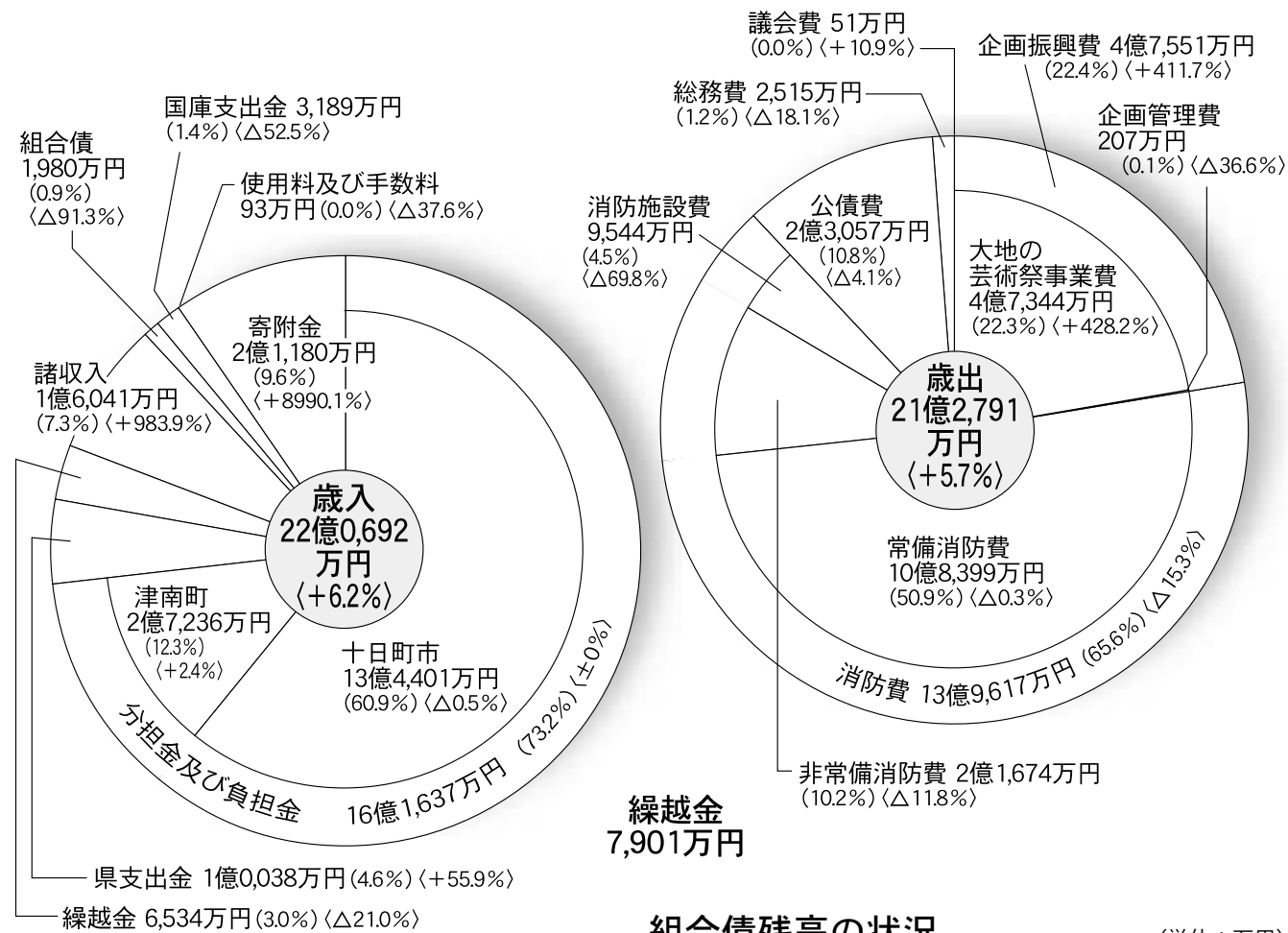
民生費 101,209円	商工費 48,638円
土木費 84,646円	農林水産業費 30,850円
公債費 78,531円	衛生費 29,382円
総務費 68,342円	災害復旧費 10,309円
教育費 51,137円	その他 25,801円
歳出総額 1人当たり 528,845円	

十日町地域広域事務組合



十日町市と津南町で運営する十日町地域広域事務組合組合では、平成18年度に、広域企画振興、消防・救急業務、家畜指導診療所の事業を行いました。
注：()内は構成比、〈 〉内は前年度対比（単位：％）

18年度一般会計の決算



組合債残高の状況

(単位：万円)

消 防 庁 舎 建 設 事 業	1,488
消 防 施 設 整 備 事 業	1億8,694
防 災 対 策 事 業	1,326
旧 地 域 合 併 整 備 事 業	2億4,308
防 災 ま ち づ くり 事 業	23億6,621
里 創 プ ラ ン 事 業	4,730
災 害 復 旧 事 業 債	28億7,167
合 計	

18年度特別会計の決算

(単位：万円・％)

会計名	歳入額 (前年度対比)	歳出額 (前年度対比)	繰越金
家畜指導診療所	4,525 (△11.3)	4,239 (+2.8)	286

18年度出動・利用状況

(単位：件)

	消防車など	救急車	家畜指導診療所
十日町市	234	2,067	6,444
津南町	36	421	7,776
圏域外	0	12	—
合 計	270	2,500	14,220

19年度一般・特別会計の7月末予算執行状況

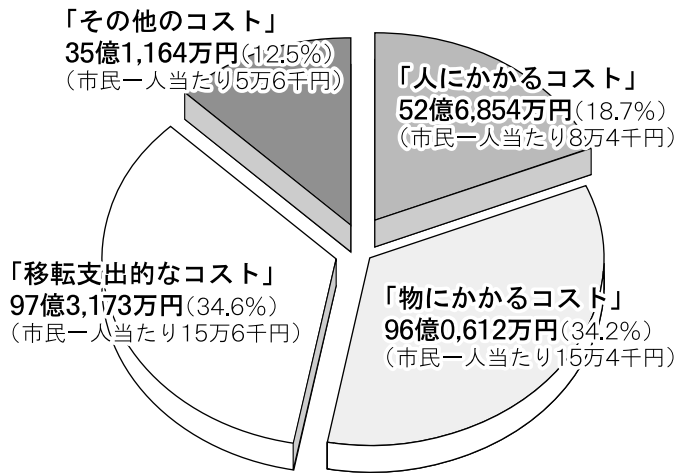
(単位：万円・％)

会 計 名	7月末予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般 会 計	16億4,636	6億0,301	36.6	4億7,635	28.9
特別会計 家畜指導診療所	4,656	1,862	40.0	1,683	36.1
合 計	16億9,292	6億2,163	36.7	4億9,318	29.1

◆行政コストとは

行政コスト計算書は、民間企業の会計という損益計算書のことです。行政サービスにかかった費用が、どのような性格のものでどの費目に使われたのか、またそのための財源はどこから調達したのかなどが分かるようになっていきます。費用の概要についてお知らせします。

《性質別の行政コスト》



※行政コストは、バランスシートと同様に一般会計のみを対象とし、決算統計の基礎数値によって分析しています。ただし、積立金、貸付金、償還元金及び資産形成に係る経費については除外しています。

行政コスト

※（ ）は、市民一人当たりの額

行政コストの総額
281億1,803万円 (45万1千円)

《項目の説明》

項 目	項 目
人にかかるコスト	行政職員にかかる経費で、人件費や退職給与引当金などです。
物にかかるコスト	賃金、消耗品、光熱水費、施設の維持管理費及び道路や建物など資産の減価償却費などです。
移転支出的なコスト	生活保護法・児童福祉法等に基づき支給される経費、各種団体等に対する補助金や負担金、繰出金、普通建設事業費のうち他団体への補助金などです。
その他のコスト	災害復旧事業費、公債費のうち利子などです。

◆キャッシュ・フロー計算書とは

キャッシュ・フロー計算書は、お金の流れを見るための財務諸表で、現金などの流動資産の収支を示す、いわゆる「資金繰り」を表しています。ここでは、1年間の収支を大きく3つの行政活動ごとに区分し、その区分ごとの収支の状況を表しました。

◆キャッシュ・フロー計算書から分かること

公共資産整備収支の部と投資・財務的収支の部については、赤字になっていますが、経常収支の部の黒字によってそれらの赤字がまかなわれています。18年度中の歳計現金の収支は3億4,400万円であり、期首の現金残高16億3,500万円と合わせると、期末（年度末）の現金などの残高は19億7,000万円となっています。

※歳計現金とは…
地方公共団体の収入と支出に係る現金のことで、一般企業にいう運転資金にあたります。

活動区分	区 分	金 額	歳 出 及 び 歳 入 の 内 容
経常収支の部	歳入合計	276億200万円	市税、地方交付税、経常的な経費に充てるための国・県支出金、財源補てんのための地方債（臨時財政対策債など）などの経常的な歳入です。
	歳出合計	216億3,500万円	人件費、賃金、光熱水費などの物件費、生活保護法・児童福祉法等に基づき支給される給付金などや各種団体等に対する補助金や負担金などの経常的な経費です。
	収支額①	59億6,700万円	
公共資産整備収支の部	歳入合計	46億1,600万円	施設整備に係る国県支出金や地方債及び基金の取崩しに伴う繰入金などの歳入です。
	歳出合計	62億4,700万円	市が施設等を整備するための経費、団体への施設整備に係る補助金などの経費です。
	収支額②	△16億3,100万円	
投資・財務的収支の部	歳入合計	31億7,600万円	貸付金回収額、公共資産売却収入などの歳入です。
	歳出合計	71億6,800万円	各種の貸付金、地方債元金、他会計の償還に充てるための繰出金などの経費です。
	収支額③	△39億9,200万円	

18年度歳計現金増減額①+②+③=④	3億4,400万円
期首歳計現金残高⑤	16億3,500万円
期末歳計現金残高④+⑤=⑥	19億7,900万円

※キャッシュ・フロー計算書は、バランスシートと同様に一般会計のみを対象とし、決算統計の基礎数値によって分析しています。計算書の対象となる資金は歳計現金、財政調整基金及び減債基金です。

キャッシュ・フロー計算書

◆バランスシートとは

市が保有するすべての資産や負債などの財政状態を表した報告書です。自治体のバランスシートは、年度末の市の資産（市の財産）と、その財源である負債（将来の世代の負担部分）及び正味資産（今までの世代が負担した部分）で構成されています。民間企業のバランスシートと異なり「資本」という考え方がありません。

このバランスシートは、公共施設の整備と資金調達・負債の関係などが、これまでの単年度ごとの財政状況の公表では分かりにくいことから、これらを明確にするため総務省の指針に沿って作成しました。

◆バランスシートから分かること

①公共施設を整備するための世代間負担比率

有形固定資産のうち、正味資産の割合を示すものです。この比率が高いほど、これまでの世代の負担割合が高いことになり、財政の健全性は好ましいという見方ができます。

正味資産合計（575億6,700万円）	= 59.7%（17年度 62.4%）
有形固定資産合計（964億0,200万円）	

②予算額対有形固定資産比率

18年度の歳入額に対する資産の比率により、市が所有する資産に何年分の歳入が充当されたかを見ることができます。年数が多いほど、公共施設の整備が進んでいると考えられます。

有形固定資産合計（964億0,200万円）	= 2.94年（17年度 2.92年）
18年度普通会計の歳入予算額（328億2,200万円）	

《平成18年度 十日町市バランスシート》（平成19年3月31日現在 単位：千円）

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1. 有形固定資産	96,402,074	1. 固定負債	44,044,300
(1)総務費	8,733,686	(1)地方債	37,363,424
(2)民生費	3,728,634	(2)債務負担行為	883,355
(3)衛生費	4,563,237	①物件の購入等	883,355
(4)労働費	39,965	(3)退職給与引当金	5,797,521
(5)農林水産業費	10,968,952		
(6)商工費	4,008,379	2. 流動負債	3,964,913
(7)土木費	37,314,584	(1)翌年度償還予定額	3,964,913
(8)消防費	94,101		
(9)教育費	26,550,174	負債合計	48,009,213
(10)その他	400,362		
(有形固定資産のうち土地	21,937,838)		
2. 投資等	4,684,847	〔正味資産の部〕	
(1)投資及び出資金	1,418,267	1. 国庫支出金	13,304,447
(2)貸付金	422,321	2. 都道府県支出金	11,277,191
(3)基金	2,844,259	3. 一般財源等	32,985,256
①特定目的基金	2,562,259	正味資産合計	57,566,894
②土地開発基金	280,000	負債・正味資産合計	105,576,107
③定額運用基金	2,000		
(4)退職手当組合積立金	0		
3. 流動資産	4,489,186		
(1)現金・預金	2,793,308		
①財政調整基金	787,203		
②減債基金	26,553		
③歳計現金	1,979,552		
(2)未収金	1,695,878		
①地方税	346,948		
②その他	1,348,930		
資産合計	105,576,107		

道路、学校など公共施設の土地、建物、設備など。建物、設備などは減価償却後の価格。土地は、取得価格を計上。

市が活動を行ううえで必要な団体への出資金など。

公共施設の整備等、特定の目的に使用するための積み立て金。

将来の資金不足に備えるための基金。

地方債の償還に備えるための基金。

市税以外の未収金で、多くは事業未完了により繰越すこととなった事業費の財源となる国・県支出金や市債など。

地方債（元金）のうち平成20年度以降に返済する金額。

物件の引渡しを受けたが、債務が残っているものの金額。

年度末に在職している職員が、全員退職したと仮定した場合の退職金の合計額。

地方債（元金）のうち平成19年度中に返済する必要がある金額。

これまでの有形固定資産の取得などに使った資金のうち、国庫支出金の金額。有形固定資産と同様に減価償却後の金額。

国庫支出金と同様の県支出金。

国庫支出金と同様の市税などの一般財源の金額。ただし、減価償却はしていません。

※バランスシートは普通会計を対象として作成しています。普通会計は、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分で、十日町市の普通会計は一般会計のみで、下水道事業などの公営企業会計や国民健康保険、介護保険などの事業会計は含まれません。

19年度 公民館まつり

各公民館で学習を続けている講座・自主グループの皆さんが、成果を発表する楽しいお祭りです。大勢の皆さんの来場をお待ちしています。

松代公民館

日時 11月3日(文化の日) 午前9時～午後4時
4日(日)午前9時～午後3時
会場 松代総合センター・第一区民会館・ふるさと会館
内容 きらく塾受講生・文化協会・地域の皆さんの作品展示、こどもまつり
問合せ 松代公民館 ☎597-2301

水沢公民館

日時 10月28日(日)
午前9時30分～午後3時30分
会場 水沢公民館
内容 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示・演芸発表会、もちつき、きのこ汁サービス、農産物・手作りの品の販売、軽食バザー、無料茶席、手作り体験教室
問合せ 水沢公民館 ☎758-3101

中里公民館

日時 11月3日(文化の日)・4日(日)
午前9時～午後7時(4日は4時まで)
会場 中里総合センター・保健センター
内容 第3回中里芸術祭、講座生・利用団体の作品展示、中里地域内小・中学生の発明工夫・模型展入賞入選作品展示、焼き物体験教室、焼き物即売コーナー、チャリティー茶会、子ども教室の作品展示
問合せ 中里公民館 ☎763-2493



下条公民館

日時 10月28日(日)
午前9時～午後3時
会場 下条公民館
内容 講座生・利用団体の作品展示と販売、食品バザー
問合せ 下条公民館 ☎755-2004

下条公民館 下組分館

日時 11月4日(日)
午前9時～午後3時
会場 下条公民館下組分館
内容 作品展、食品バザー
問合せ 下条公民館 ☎755-2004

松之山公民館

日時 10月27日(土)午前9時～午後6時
※美術展&湯島フェスティバルのみ
10月28日(日)午前9時～午後3時
会場 松之山自然休養村センター・松之山体育館
内容 第26回農業祭(もちつき大会、きのこ丼・手打ちそば・おにぎり試食会)、第27回芸能祭(よさこいソーラン、上川手歌舞伎ほか)、第37回美術展&湯島フェスティバル(講座生・文化協会・地域の皆さんの作品展示ほか)
問合せ 松之山公民館 ☎596-2265

川西公民館

日時 11月3日(文化の日)
午前9時～午後8時
4日(日)午前9時～午後4時
会場 千手中央コミュニティセンター
内容 吉田明妻有焼展、第32回川西美術展、講座生・地区文化活動団体・地域の皆さんの作品展示
問合せ 川西公民館 ☎768-2308
▼七輪陶芸体験教室 ※要予約
●日時 11月3日(文化の日)・4日(日)
午前10時～午後4時
●会場 千手中央コミュニティセンター
●申込み・問合せ 川西公民館 ☎768-2308



下条公民館 東下組分館

日時 10月21日(日)
午前9時～午後3時
会場 東下組小学校
内容 作品展
問合せ 下条公民館 ☎755-2004

下条公民館 上新田分館

日時 11月4日(日)
午前9時～午後3時
会場 下条公民館上新田分館
内容 地域の皆さんの作品展示、飲食コーナー、農産物即売会、不用品バザー
問合せ 下条公民館 ☎755-2004

中条公民館新座分館

日時 10月21日(日)
午前10時～午後2時30分
会場 中条公民館新座分館
内容 講座生の作品展示、バザー、体力測定会、子どものキーホルダー作り
問合せ 中条公民館 ☎752-2748

※中条公民館は9月29日(土)・30日(日)に実施しました。

六箇公民館

六箇公民館中村分館・ニツ屋分館

日時 10月28日(日)
午前9時～午後3時
会場 六箇公民館
内容 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示、第28回妻有街道歩け歩け大会写真展、バザー、ちびっ子広場
問合せ 六箇公民館 ☎752-5434
川治公民館 ☎752-2223

中条公民館大井田分館

日時 11月3日(文化の日)
午前9時～午後3時
会場 中条公民館大井田分館
内容 講座生・地域の皆さんの作品展示、ほほえみ家族似顔絵展、抹茶無料サービス、飲食コーナー、地域の皆さんによる芸能祭
問合せ 中条公民館 ☎752-2748

吉田公民館

日時 11月3日(文化の日)
午前9時～午後3時
会場 吉田公民館
内容 講座生・利用団体・地域の皆さんの作品展示、ステージ発表、囲碁・将棋・オセロ体験コーナー、飲食コーナー、かえっこショップ
問合せ 吉田公民館 ☎752-2874

吉田公民館真田分館

日時 11月4日(日)
午前11時～午後4時
会場 旧真田小学校
内容 地元野菜などの即売、もちつき大会、カラオケフェスティバル
問合せ 吉田公民館 ☎752-2874

吉田公民館名ヶ山分館

日時 11月4日(日)
午前9時～正午
会場 旧名ヶ山小学校
内容 作品展、ステージ発表、バザー
問合せ 吉田公民館 ☎752-2874

飛渡公民館飛渡分館

日時 10月28日(日)
午前9時～午後2時
会場 飛渡第一小学校
内容 講座生・地域の皆さんの作品展示、ステージ発表、おにぎり豚汁のサービス、チャリティーバザー、喫茶コーナー、郷土資料館開設
問合せ 飛渡公民館 ☎759-2032

川治公民館

川治公民館北新田分館・城之古分館・関浅分館・八箇分館

日時 11月3日(文化の日)
午前9時～午後3時
会場 川治公民館
内容 講座生・利用団体の作品展示、再利用品販売、バザー、焼き物即売会、無料茶席、ちびっ子広場
問合せ 川治公民館 ☎752-2223

中央公民館

日時 10月27日(土)午前9時～午後5時
(作品展示は10時まで)
28日(日)午前9時～午後3時
会場 中央公民館
内容 講座生・利用団体の作品展示(生け花・焼き物・写真・手芸・工芸・園芸・俳句・書道・洋画・日本画・活動記録など)、販売コーナー(寿司・赤飯・廃油セッケン・焼き物・園芸品)、フリーマーケット、アトラクションコーナー(茶室、金魚すくい、ミニゴルフ、紙飛行機ゲーム、スタンプラリー)、飲食コーナー、映画上映<27日>「5等になりたい」「山古志村のマリと三匹の子犬」「ハッピーバースディ」「絵の中のぼくの村」、ステージ発表<28日>(ダンス・フルート演奏など)
問合せ 中央公民館 ☎757-5011



総合防災訓練を行います

市では震災の教訓を忘れないため、昨年に引き続き総合防災訓練を実施します。当日は、市内全域で午前9時にサイレン、半鐘、同報系無線で訓練の開始をお知らせするほか、エフエムとおかまち（78.3MHz）でも訓練の放送を行います。訓練開始に合わせ、震災による犠牲者のご冥福を祈り、1分間の黙とうをお願いします。

※サイレン、半鐘などが聞こえない場合は自主的に黙とうをお願いします。

▼日 時 10月21日(日) 午前9時～午前11時30分

▼主会場 川西中学校

▼災害想定（抜粋） 10月21日(日)午前8時56分、中越地方を震源とする地震が発生し、川西支所では震度6強を、市役所本庁及び各支所では震度5強を観測した。ライフラインはほとんど寸断された状態である。新潟地方気象台の発表によると、今後も活発な余震活動が続くものと予想されている。市では、午前9時10分に市長を本部長とする災害対策本部を設置し、災害状況を把握するとともに、人命救助、災害復旧及び被害の拡大を防止するため応急対策を実施する。

▼主な訓練内容 災害対策本部設置・安否確認・被害情報収集・多数傷病者応急処置・避難誘導・消火・倒壊家屋救助・高所救助（はしご車、県防災ヘリ）・協定自治体への応援要請・自主防災会初期消火・各種体験（降雨・濃煙通過・AED操作など）

●問合せ：防災安全課防災安全係 ☎757-3197（内線286）



平成16年10月23日発生の中越大震災で被害を受けた国道252号（松葉沢ダム付近）



活発な意見が交わされる市民編集委員会

市では、今年度発行予定の「中越大震災十日町市記録集」を現在作成中です。事実をそのまま記録するために、震災の恐さや地域で支えあった体験を後世に伝えるために、多くの皆さんから体験談や写真を寄せていただきました。また、市民編集委員会と庁内編集委員会を設けて編集内容の検討や情報収集・取材を進めています。現在進められている編集の概要をお知らせします。



取材中です

中越大震災十日町市記録集

伝えよう！の体験

中越大震災記録集の構成

プロローグ

市民が語り継ぐ10・23

特集1 中越大震災を検証する

特集2 震災発生から72時間

- 1、突然の激震
- 2、地震発生から3日間
- 3、地域の習慣を生かす
- 4、避難生活の「衣・食・住」
- 5、地震発生4日目からの課題
- 6、復興へのターニングポイント
- 7、3年経ったとおかまち
- 8、語り継ぐこと
- 9、資料編
- 10・23を未来につなげよう

付録

- 1、防災ハンドブック
- 2、集落マップ

体裁

A4版160ページ前後
カラー（1部単色）印刷

※内容は変更になることがあります。

現在、取材・編集作業を進めていますが、発行後、有料頒布する予定です（価格未定）。後日、市政事務嘱託員を通じて購入希望のとりまとめを行いますので、多くの申し込みをお待ちしています。

募集中！

体験ひとことメッセージ

震災の恐さや地域で支えあった体験などから学んだこと、これだけは肝に銘じたいことなど「次代に伝えたいひとことメッセージ」（その意図も）がありましたらお寄せください。

〈例〉
「ふだんコンビニ生活をしていると
災害時に飢える」
…（最低3食分の食料は確保しておこう）
「旅先でも額縁の下に枕は置かない」
…（旅館の人にも教えよう）

■応募方法

はがき、封書、FAX、Emailなどでお送りください。（住所、氏名、年齢、電話番号明記）

■応募期限

10月26日(金)（当日消印有効）

●申込み・問合せ

総務課広報広聴係
〒948-8501 十日町市千歳町3-3
☎757-3112 FAX752-4635
Email kouhou@city.tokamachi.niigata.jp

土地活用 みんなで創る美しいまち

10月は土地月間

一定面積以上の土地取引
には届出が必要です

価など

国土利用計画法では、国土の適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、法定面積以上の土地取引を行った場合、土地の所在する市町村を経由して都道府県知事に届出をすることを義務付けています。

◆届出義務者…権利取得者（売買であれば買主）

◆届出時期…契約締結日（予約を含む）から2週間以内

◆届出場所…土地の所在する市町村役場

◆届出事項…①土地に関する売買などの当事者②所在③利用目的④対応

※個々の取引面積は小さくても、土地の総面積が右記の面積以上になる場合には、届出が必要になります。また、期限内に届出をしなかったり偽りの届出をしたとすると、法律により罰せられることがあります。

19年度地価調査価格発表

地価調査は適正な土地価格を公表し、土地売買の目安にしようというものです。市内基準地の地価調査価格は次のとおりです。調査価格などの関係書類は建設課で閲覧できます。

区分	所在、地番（行政区）	価 格
住宅地	春日86番（春日町1）	43,200円/㎡
住宅地	中条甲2817番（旭ヶ丘）	16,500円/㎡
住宅地	南新田町2丁目4番15（南新田町2）	33,500円/㎡
住宅地	馬場丁1209番6外（土市2）	20,400円/㎡
住宅地	中仙田甲841番3外（中仙田）	4,250円/㎡
住宅地	水口沢176番（旧川西田中町）	16,100円/㎡
住宅地	仁田2288番（仁田）	10,100円/㎡
住宅地	本屋敷字下村丁1369番1（本屋敷）	3,850円/㎡
住宅地	通り山字居平子126番1（通り山）	13,400円/㎡
住宅地	松代字宮沢入3208番2（松代）	9,300円/㎡
住宅地	犬伏字北浦497番1（犬伏）	1,970円/㎡
住宅地	蒲生字赤根2055番1外（蒲生）	4,980円/㎡
住宅地	松之山字前田1214番25（松之山）	8,000円/㎡
住宅地	浦田字湯田2967番1（湯之島）	1,780円/㎡
商業地	字上原子164番4（高田町1）	61,900円/㎡
商業地	上山字向田己1592番1外（上山）	26,900円/㎡
商業地	松代字上ノ山下3296番1（松代）	13,600円/㎡
準工地	字中割目寅甲406番14（西本町1）	46,500円/㎡
準工地	字下平寅乙376番8外（下島）	54,000円/㎡
林	姿甲2359番外（姿1・2）	90,000円/10a



川西地域協議会では、十日町市総合計画前期基本計画の川西地域振興プロジェクトを実現するため、川西地域振興基金を活用した川西地域振興計画づくりに取り組んでいます。これまでに、各地区・各種団体などを対象としたヒアリングやワークショップを25回開催し、地域の抱える課題や今後のまちづくりの方向性などについて議論を重ねてきました。これにより、「お年寄りや子どもたち

川西地域のこれからのくらしを考える 「市民ワークショップ」を開催します

の交通手段を確保したい」「地域や活動団体の交流を通じて、地域文化を伝えていきたい」「地域や団体の活動を結ぶ仕組みをつくりたい」など地域づくりの課題が見えてきました。協議会では、次の日程で市民ワークショップを開催し、これまでに

出された意見をもとに川西地域のまちづくりの目標について検討を行います。川西地域のこれからのくらしを考える市民ワークショップは、どんなでも気軽に参加することができ、すので、皆さんの参加とご意見をお待ちしています。

◆市民ワークショップ

●日時 10月22日(月)午後7時30分
●会場 千手中央コミュニティセン
ター千年の森ホール

川西地域振興計画についてのご意見は、川西地域協議会事務局(川西支所地域振興課自治振興係内)768-4951までお願いします。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111



9月3日(月)、松之山地域の振興を推進する自立した自治組織「松之山地域振興会」が発足しました。振興会は、地域の振興を計画・実施していく母体となる組織です。地域内にある6つの地区協議会や商工会、各種団体の代表者など28人の委員で構成され、3日の会議では、会長に柳靖治氏(松之山観光協会会長)が選

一体となった地域振興の取り組みへ 松之山地域振興会が発足

任されました。

振興会の当面の活動として、各地区や各団体を対象にワークショップを開催し、それぞれが抱えている課題などを出し合い、それをもとに、松之山地域協議会が策定する「松之山地域振興計画」の原案づくりを進めていきます。

ワークショップは9月と2月に開催予定で、松之山支所などを会場に9月12日(水)からスタートし、これまでに10回開催されました。参加者からは、高齢化や冬期除雪など生活に密着した課題が多く出されました。2月のワークショップでは、出された課題から具体的な事業の検討が行われます。

振興会では、来年4月をめどに原案を取りまとめ、松之山地域協議会へ提出する予定です。地域の自治組織としての松之山地域振興会が設立されたことで、一体となった地域振興への取り組みが始まります。

湯コー米マイ心ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

9月22日(土)、まつのやますこやか子育て委員会が主催する「子育て講演会」が松之山自然休養村センターで開催されました。これは、地域の子どもたちが健やかに成長するためのバックアップ事業の一つとして毎年開催されているものです。

子育てネット 講演会

この日は、大阪人間科学大学教授で児童精神科医でもある服部祥子氏が、「生きる力の火種 そのとうとさ」と題して講演を行い、保護者や教職員など約120人が参加しました。服部さんは、「幼少期にさまざまな人との出会いで生きる力の火種が生まれる。火種はプラスだけでなく、マイナスの体験も大切」と幼少期から思春期、そして大人期への道筋について語り、参加者たちはメモを取るなどして熱心に聴き入っていました。



秋の収穫を喜び 味覚を楽しもう！ 『第26回松之山農業祭』のお知らせ

今年で26回目を迎える松之山農業祭。特産のナメコの即売会やナメコを使った料理の試食会など盛りだくさんのイベントを開催します。皆さんも会場に足を運んでみませんか。

- 日時 10月28日(日) 午前9時30分～
- 場所 松之山自然休養村センター
- 内容 野菜即売、農機具展示販売、錦鯉展示即売、もちつき大会、おにぎり・そば・キノコ井の試食会、お楽しみ抽選会など
- 問合せ 松之山支所農林課 (☎596-3132)



ふるさとについて 考えてみよう

9月14日(金)、仙田小学校(高橋雅史校長・児童数23人)で、「ふるさと仙田ウォーク」が実施されました。この催しは、「児童たちが、仙田の自然や歴史、仙田の良さを伝える活動に取り組み、人たちの話を直接聞いて、ふるさと仙田について自分



なりの考えを持つ」ことをねらいとしています。当日は真夏に戻ったような暑い一日になりましたが、児童たちは高倉ブナの家を皮切りに、相国寺(室島)、瀬替え跡、道の駅と雪室、赤谷大ケヤキ、岩瀬ほとるの里などを歩いて見学しました。また、見学のかたわら、座禅の体験をしたり、川遊びで楽しんだりして、貴重な一日を過ごしていました。

さわやかな秋空のもとを力走

9月22日(土)、第31回川西マラソン大会が川西中学校グラウンドを発着点として開催されました。競技は、個人走(2km)の部、駅伝A(1km×3人)、B(2km×3人)、C(3km×3人)の部があり、個人走には約70人、駅伝には約76チームが参加しました。当日は晴天に恵まれ、選手達たちは沿道からの声援を受けながら、それぞれ健脚を競い合い、ゴールを目指していました。

◆大会結果 個人走(2km)：清水孝
〈駅伝A〉小学1～3年生の部：鑑島雪男雪女F 一般の部：高
〈駅伝B〉小学4～6年生の部：鑑島雪男雪女A 中学生女子の部：川中GIRLS 一般の部：上野小学校職員
〈駅伝C〉中学生男子の部：川中BOYS 一般の部：あやちゃん結婚おめでとう!!



駅伝Aの部でいっせいにスタートする選手たち



春川 佳杏ちゃん

はるか けいかちゃん
平成15年8月30生まれ
本町6-3

1つちがいの妹のことはちゃんとは、ときどきけんかもするけどとっても仲よし姉妹です。お歌を歌ったり、踊ったりするのが大好きなけいかちゃん。「大きくなったらお姫さまになってパパと結婚するの！」



28



竹内 堅生・颯太ちゃん

たけうち けんせい・そうたちやん
平成16年2月9生まれ
坂中

ひょうきんで活発なけんせいちゃんと甘えん坊のそうたちやん。赤が好きでけんせいちゃんはグキレッド、青が好きでそうたちやんはグキブルーです。唯一納豆好きが共通点の双子の仲よし兄弟です。

ときめき ネットワーク

心やすらぐ自然の魅力 自分に生かして

ホテルベルナティオに勤務して、改めて十町の自然の価値に気付きました。この自然の中に生まれ生きてきて、あまりにも身近にありすぎて分らなかったのかな。自然学校で行われている山菜やアスパラ採り、ホテル観賞ツアーや森の中のバームクーヘン作りなど四季をととした自然体験プログラムは、とても人気があります。この自然の中に溶け込むような感じが、魅力だと思います。

勤めて2年目になりますが、職場の様々な職種を経験して、お客様をもてなす難しさにはまだまだ学ぶことが多くあると実感しています。言葉や応対、そして何といっても笑顔。当分の自然に負けないくらいのがすがしきで応対ができるよう目下勉強中です。何しろ、ホテルの印象に直結することですから。この広々とした緑に親しもうと最近ゴルフの練習も始めました。仕事の知識を広められるし、自分でも楽しみたい。それがきっかけです。



岡村 栄美さん

1983年生

（株）当間高原リゾート ホテルベルナティオ勤務

先月の池田隼哉さんからバトンタッチ。

たばこは、喫煙者本人だけでなく周りのたばこを吸わない人の健康にも影響を及ぼします。たばこの煙には約4千種類の化学物質が含まれ、がんや肺気腫、心臓病などのさまざまな健康被害を与えることがわかっています。

市では、次の目標を掲げ、禁煙の啓発や未成年者の喫煙防止、受動喫煙を防止するための家庭や公共施設の禁煙・分煙の推進に取り組んでいます。



「たばこ健康」

健康とおかまち21 シリーズ⑥

元気予報



問合せ 健康支援課地域医療係
TEL757-3719（内線127）

〈重点目標〉
喫煙者の割合を減少させる。
（現状値男性33%、女性8%↓
目標値23年度男性30%、女性5%）
〈サブ目標〉
家庭で禁煙や分煙をしている人の割合を高める。
（現状値57%↓目標値23年度65%）
公共施設における禁煙・分煙の割合を高める。
（現状値51%↓目標値23年度100%）
止めたくてもなかなか止められないのがたばこです。止める意志を強く持ち実践することが大切です。成功例を参考にしたり、禁煙外来を開設している医療機関で治療を受けることも有

市では現在、受動喫煙防止のため、市有公共施設の禁煙・分煙に取り組んでいます。皆さんも地域の集会所などの禁煙・分煙や喫煙ルールを話し合い作ってみませんか。

○喫煙している人は、禁煙にチャレンジしましょう。
○喫煙していない人は、これからはたばこを吸わないようにしましょう。
○妊婦や子どもの前ではたばこを吸わないようにしましょう。
○未成年者にたばこを勧めないようにしましょう。
○子どもや他の人に煙の害を及ぼさないよう、家庭や職場で禁煙・分煙するようにしましょう。

効です。また、受動喫煙は、喫煙者のちよつとしたマナーで防ぐことができます。皆さんも自分と周りの人の健康を守るため禁煙・分煙に取り組んでみませんか。



市有地及び

市有建物を公売します

市報7月25日号に掲載した次の物件について再度、公売・入札を行います。

【旧倉俣教員住宅（倉俣地内）】

- ◆物件…土地及び建物
- ◆所在地…十日町市倉俣字おせ戸甲1621番4
- ◆地目…宅地 396.95㎡（実測面積）
- ◆建物…旧倉俣教員住宅（高床式木造3階建、延床面積376.98㎡ 築30年）
- ◆入札最低価格…3,450,000円

◆資料の閲覧期間・場所※入札申込期間及び申込書提出先も同じ

期間…10月31日（水）午前8時30分
午後5時30分（土・日曜日、祝日を除く）

場所…財政課管財係（本庁2階）
現場説明…希望者は問合せ先に申し込んでください（閲覧期間内、随時受付）。

◆入札

日時…11月14日（水）

午後1時30分（同日開札）

場所…全員協議会室（本庁3階）

《資格条件…なし》

入札保証金…免除

契約保証金…345,000円

◆申込み・問合せ

財政課管財係 ☎757-3114
（内線224）

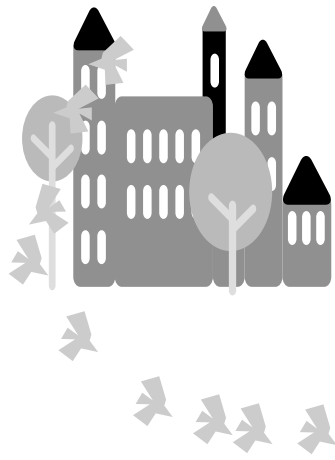




にいなめ できは上々！新嘗祭献穀米稲刈り

9月26日(水)、如来寺地内の水田で今年の新嘗祭に献穀する、新米の刈り取りが行われました。新嘗祭は、天皇がその年に採れた穀物を神々に奉納し、自らもこれを食してその年の収穫を感謝する祭儀で、毎年11月23日に宮中で行われています。全国から米や粟などが献穀され、今年は服部安英さん（如来寺・53歳）が新潟県を代表して新米の献納を行います。服部さんは、「農業を営む者にとって大変名誉なことです。いいものができるか春から心配でしたが、天候にも恵まれ、できは上々。魚沼ブランドに恥じない米になったと思います」と安どの面持ちで、十日町地域振興局やＪＡ十日町、市の職員とともに稲を刈り取りました。新米は10月24日(水)に皇居で献納されます。

tokamachi topics



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112内線213）へ、お気軽にお寄せください。

クロアチアカップ サッカーフェスティバル開催！

9月22日(土)、23日(日)の2日間、毎年恒例となったクロアチアカップサッカーフェスティバルがクロアチアピッチを会場に開催されました。両日とも柏レイソルサッカースクールが開催され、2日間で約450人の小学生が参加しました。また、23日(日)には、第5回ミニサッカー大会が行われ、県内外から56チーム・約500人が参加。キッズ・レディース・ファミリーなど6つの部門に分かれて熱戦が繰り広げられました。連休最終日の24日(月)には、防災協定を結んだことから始められた十日町市・和光市少年サッカー交流大会も行われ、サッカーを通して親睦を深め合いました。



9月20日(木)、マクロビオティック（心身を健康で美しくするため、身体に負担がかかる動物性食品や砂糖などを控え、「玄米菜食」を基本にした食事法）研修会が、農舞台と芝峠温泉雲海で開催され、市内の旅館や飲食業経営者など20人が参加しました。研修会では、マクロビ研究者の中広行さん・美恵さんによる講演会「陰陽論や身土不二などの考え方」や料理実習が行われました。これからは、地域の食材を生かしたマクロビ料理が、新たな観光資源になることが期待されます。

心も体も健康に

平成20年
4月から

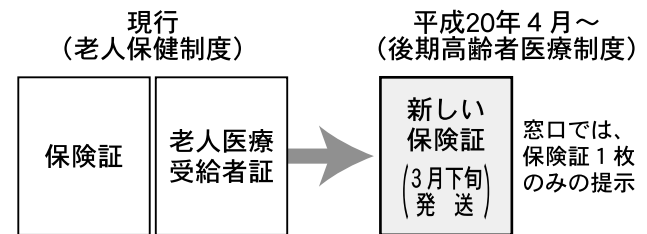
「後期高齢者医療制度」

シリーズ No.3 保険証・窓口負担割合について

問合せ
介護国保課
国保係
☎757-3735

Ｑ．保険証は変わるのですか？

Ａ． 後期高齢者医療制度に加入すると、新しい保険証に変わり、対象者には来年3月下旬に市から保険証が送付されます（保険証の申請手続きは不要です）。また、制度施行後に75歳となる人については、誕生日前に保険証が届きます。
※医療機関で医療をうける時は、現行の老人保健制度では、保険証と老人医療受給者証の2種類が必要でしたが、後期高齢者医療制度になると、保険証1枚のみの提示となります。



Ｑ．窓口での自己負担割合はどうなりますか？

Ａ． 医療費の自己負担割合は、一般の人は1割負担、現役並み所得者は3割負担となります（所得区分は決定し次第お知らせします）。保険証に自己負担割合が記載される予定です。

医療費が高額になった場合は、現行と同様に高額医療費制度や自己負担限度額などの設定があります。

Ｑ．後期高齢者医療制度による医療費の財源構成は？

Ａ． 後期高齢者医療制度による医療費の財源内訳は、医療費の患者負担分を除くと、被保険者からの保険料が10％、若年者からの支援金が約40％、公費負担が約50％となっています。

《医療費の財源構成図》

患者負担	被保険者の保険料	後期高齢者支援金 (若年者の保険料)	国	県	市町村
		政府管掌保険組合 健康保険組合 共済組合 国民健康保険	公費負担		
1割 又は 3割	10%	40%	2/3	1/6	1/6
			50%		

※現役並み所得者（患者負担3割）の医療費は、公費負担の対象外となり、保険料（10％）以外の部分は後期高齢者支援金で賄われます。

《後期高齢者支援金》

各医療保険がそれぞれの加入者数（0歳～74歳）に応じて負担するものです。医療保険者は、被保険者から保険料の中に支援金に相当する分も併せて徴収し、社会保険診療報酬支払基金を通して広域連合に交付される仕組みとなります。

AEDサポート事業を紹介します

最近、「AED」という言葉を新聞・テレビなどで目にする機会が多くなり、特に運動競技中に急に倒れた人の命を救ったニュースなどを聞くようになりました。

十日町地域メディカルコントロール協議会では、十日町地域内（十日町市・津南町）のAED設置事業所などに対して、「救命サポート表示マーク」を交付しています。この事業は事業所などの営業時間内で緊急時のAEDの貸出しや、応急手当に対する支援について賛同していただける場合に交付するもので、現在36事業所などに交付しています。

協議会では、従業員50人以上の事業所などへのAED設置促進や、すでに設置している事業所へ救命サポート事業の協力依頼を行っていきます。また、AEDを安全に使用するための取扱い訓練を含めた普通救命講習も実施しています。

●問合せ 十日町地域消防本部 救急係（☎757-0119）



AEDサポート事業所

◇健康支援課・教育委員会（教育機関貸出用）・川西支所・中里支所・松代支所・松之山支所・中央公民館・総合体育館
◇県立十日町高等学校◇県立川西高等学校◇十日町市中魚沼郡医師会◇本町クリニック◇山口医院（袋町）◇大熊内科医院◇田村歯科医院◇西野歯科医院◇十日町検診センター◇越後妻有交流館キナレ◇俵なかさと清津峡トンネル管理事務所◇俵当間高原リゾート「ベルナティオ」◇助十日町スイミングスクール◇俵サポート十日町◇ラポート十日町葬祭センター「虹のホール」◇俵丸山工務所◇俵小嶋屋◇南桂林グループ（いずみ調剤薬局）◇十日町自動車学校◇十日町カントリークラブ◇千歳館◇俵拓越◇本町4丁目防災会（順不同）



あてま森のフォーラム ～森のお話と秋の音色～

9月23日(日)、第9回あてま森のフォーラムが、当間高原リゾートで行われました。木立に囲まれた会場には、家族連れなど約150人が参加。森のおはなしを聞いたり、自然観察、バームクーヘン作りをしたりして楽しいひとときを過ごしました。

この日、自然観察の講師を務めた㈱東京電力の平野篤さんからは、目の前の木を使って生育の測定方法や二酸化炭素を吸収する仕組みなどの説明を受けました。その後は、自然観察指導員とともに森の中の動植物に触れたり、五十嵐正子さんなどによる「もみじ」「虫の声」など秋にピッタリのオカリナ演奏に耳を傾けたりと、森の中で知性と感性、さらには食欲も高めあう、おだやかな休日を過ごしました。

生活習慣病の予防や健康増進のため、楽しくウォーキングに取り組めるコースとして、十日町市緑道など県内8か所が「新潟県健康ウォーキングロード」に登録されました。健康ウォーキングロードは、安全性や快適性に加え、景色や地域の魅力を楽しむことができます。十日町市緑道は、十日町駅西口付近から妻有大橋たもとまでの約1・5kmの舗装道です。道路沿いには、博物館や情報館などの施設や石彫シンポジウムの作品が並び、心身ともにリフレッシュできる遊歩道です。



tokamachi topics

氷とお湯で電気をおこす 早大科学実験教室



9月19日(水)、蒲生の早稲田大学セミナーハウスで、科学実験教室が開催されました。この教室は、同大の施設がある地域へ貢献することを目的に毎年開催されているもので、早稲田大学オープン教育センター主催のもと、理工学術院総合研究所、教育・総合科学学術院の協力により、松代・松之山地域5小学校の5、6年の児童約60人を対象に実施されました。今回の教室は、2つの異なる金属をつなげた両方の接点に温度差を与えると発電する「ゼーベック効果」を応用して、模型のボートを動かそうという実験で、熱電変換素子を取り付けたボートに氷を載せ、お湯に浮かべて走らせました。指導にあたった橋詰匠教授は「雪と温泉に恵まれたこの地域の資源を生かし、自然エネルギーに興味を持ってもらえたらうれしい」と話していました。

工夫とアイデアの宝箱

9月22日(土)～24日(月)の3日間、クロス10で第35回十日町市・中魚沼郡児童生徒発明工夫模型展「中魚沼郡十日町市第23回児童生徒生物標本展」が開催されました。これは、十日町市立理科教育センターの主催で毎年行われているもので、今年は発明・模型の部では1、135点、生物標本の部では294点、合計1、429点が出品。児童生徒たちの力作がところ狭しと並べられた会場には、3日間で約5、000人が訪れ、興味深そうに見入っていました。



tokamachi topics

「森の学校」キョロロ

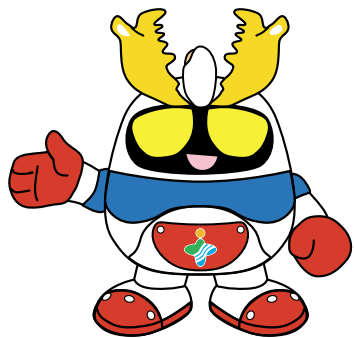
十日町市だいじんがあ 自慢大会

十日町市の「だいじんがあ（＝大事なもの）」を大公開！地域の皆さんそれぞれの自慢のだいじんがあを見に来てみませんか。

- 会 期 ～12月2日(日)
- 会 場 「森の学校」キョロロ
- 入館料 大人500円、小・中・高校生300円
※団体（20人以上）は50円引き
- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

- 休館日 毎週火曜日
- 問合せ 「森の学校」キョロロ ☎595-8311

◆同時開催
つまりの里
風景写真展
～桜沢正司・
茂野誠一郎
二人展～



© KANJI TOYOSAKI
プロジェクトイメージキャラクター
「ダイジンガー君」

日本女子陸上長距離界エース

富士加代子選手来市！

県内の長距離の普及強化を図り、地域の活性化・発展に寄与することを目的として毎年開催されている十日町長距離カーニバルが、9月29日(土)陸上競技場で開催されました。記念すべき20回目の今回は、招待選手として日本女子陸上競技3000m・5000mの日本記録保持者富士加代子選手(ワコール所属)が来市。競技の合間に行われた「ふれ合いトーク」では、日本を代表するアスリートの登壇に集まった小・中学生などから大歓声があがりました。「レース前のアップの仕方はどうしていますか？」など質問が次々と出され、参加者は終始なごやかな雰囲気であい合いの時間を楽しみました。



雨にも負けず元気に練習

9月30日(日)、妻有大橋右岸たもこのつまりっ子ひろばで第6回水辺の楽校が開催され、虫カゴや網を持った親子連れなど約90人が水生生物や昆虫などの観察会を行いました。この日はあいにくの雨となりましたが、参加した子どもたちは、「魚がいたよー」「これは何て名前前の虫？」と元気に草むらや川を散策し、ひろば内に生息する生き物などの観察を楽しんでいました。観察会終了後には温かい豚汁がサーブされ、雨で体の冷えた参加者にとっても喜ばれていました。



環境講演会

～人生互いに思いやり～

思いは地球規模で、 行動は足元から

主婦の目から見た身近な環境問題を提起します。環境について楽しみながら考えてみませんか。



日 時 10月28日(日) 午後1時30分～
会 場 十日町情報館
講 師



漫才師・
環境カウンセラー
林家カレー子さん

入場料 無 料
問合せ 市民生活課環境政策室環境企画係
☎757-3740 (内線157)

758―4809

県立上越テクノ
スクール受講生募集

【マイクロソフトパワーポイント初級コース】●日時 11月10日(土)・17日(土)午前9時〜午後4時 ●会場 県立上越テクノスクール ●受講料 2、400円 ※テキスト代が別途必要 ●定員 20人 ●申込み締切 10月25日(木) 【TIG溶接(実技)コース】 JIS溶接技能検定の試験合格を目標に学科・実技を学びます。 ●日時 11月14日(水)・15日(木)午前9時〜午後4時 ●会場 県立上越テクノスクール ●受講料 3、900円 ●定員 10人 ●申込み締切 10月30日(火) ●申込み・問合せ 県立上越テクノスクール (☎025―545―2190)



息らくらく教室

肺結核の後遺症や肺気腫などによるせき・たん・息切れなどで悩んでいる人は参加してみませんか。原則3回受講ですが1回の受講もできます。 ●日時

①10月23日(火)午後1時〜4時 ②10月29日(月)午後1時30分〜3時30分 ③11月6日(火)午前10時30分〜午後2時 ●会場 ながみの家 ●参加費 無料 ※昼食会は実費あり ●内容 ①肺機能検査、講話「呼吸器のしくみと病気の治療について」布施克也氏(松代病院院長) ②理学療法士による呼吸リハビリテーションについての講話・実技指導 ③管理栄養士による講話、昼食会、座談会 ●申込み・問合せ 10月17日(水)までに十日町地域振興局健康福祉部 (☎757―2400)

移動点字図書館

●日時 10月28日(日)午前10時〜午後3時 ●会場 情報館 ●内容 図書案内、CD図書再生専用機器の操作説明など ●問合せ 県点字図書館 (☎025―381―8111)

特別弔慰金の請求は
済んでいますか？

戦没者などの死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日現在で公務扶助料・遺族年金などを受ける人がいない場合に、次の先順位ご遺族1人に特別弔慰金が支給されます。期限を過ぎると請求ができないので注意してく

知りたい人は、児童相談所におたずねください。 ●問合せ 県南魚沼児童相談所 (☎025―770―2400)



就職・退職したら届出を

国民年金の第1号被保険者だった人が、就職などにより厚生年金や共済組合などに加入した場合、第2号被保険者になるため、住所地の国民年金係へ届出が必要です。また、60歳未満の人で勤務先を退職し、厚生年金や共済組合の被保険者でなくなった人も国民年金係への届出

寄付ありがとう

- 9月26日届出分まで(敬称略)
- 十日町市へ＝北信越市議会議長会(100,000円)新潟県市議会議長会(50,000円)福井市議会(50,000円)福井市(100,000円)宗教法人金光教(100,000円)川越市自治会連合会大東支会(50,000円)金沢市(100,000円)心にやすらぎを実行委員会(54,715円)
 - 交通遺児等援助基金へ＝上町俄若衆連(17,945円)十日町高校定時制生徒(23,137円)
 - 地域福祉基金へ＝中条病院患者会(13,800円)
 - 情報館へ＝寺崎富治(旭ヶ丘)平野幸治(山野田)丸山浩(稲葉)西方幸男(川原町)高橋加代子(伊友)庭野勇吉(高田町3西)井之川正昭(本屋敷)平野悟(東善寺)目黒健二(新潟市)長谷川清(栃木県宇都宮市)柳与志晴(東京都練馬区)
 - 博物館へ＝岩田傳作(中条上町)

対象品目	現行料金 (税込)	旧料金 (税込)
エアコン ※メーカーによつて 料金が違います	3,150円	3,675円
	4,189円	4,714円

※平成19年9月4日付環境省通知



エアコンのリサイクル
料金値下げのお知らせ

家電4品目のうち、エアコンのリサイクル料金が4月1日に改定され、表のとおり値下げされました。詳細については家電取扱店に問い合わせてください。 ※リサイクル料金のほかに運搬料金が必要 ●問合せ 環境

ださい。 ●対象 1…弔慰金の受給権者(前回の第6回または第7回の支給で受給した人、前回受給した人が平成17年4月1日以降に亡くなりその相続を受けた人) ▼2…戦没者などの子ども ▼3…戦没者などと生計関係を有していた①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹 ▼4…1…3以外の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹 ▼5…1…4以外の三親等内の親族(戦没者の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた人に限る) ●給付内容 額面40万円、10年償還の記名国債 ●請求期限 20年3月31日 ●請求窓口・問合せ 福祉課 援護係(内線131)、川西支所健康福祉課障害援護係(☎768―4957)、中里支所健康福祉課障害高齢援護係(☎763―3121)、松代支所健康福祉課障害高齢援護係(☎597―2221)、松之山支所健康福祉課子育て障害援護係(☎596―2169)

小・中学生が入院する
際には助成の手続きを

市が発行する「児童医療費受給者証」を医療機関に提示すると、保護者の負担が入院1日につき1、200円になります。

10月は労働保険適用
促進月間です

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、政府が管理運営している保険制度です。原則として、労働者を1人でも雇っている事業主は必ず加入しなければならない会社は、すぐに労働保険に加入しましょう。 ●問合せ 新潟労働局労働保険徴収課 (☎025―234―5921) または近くの労働基準監督署、ハローワーク

川西地域の行政相談日
追加のお知らせ

川西地域の行政相談を24日(水)も開催します。会場・時間は23日(火)と同じです。 ●問合せ 川西支所市民生活課市民係 (☎768―4956)

サタデー市長室開催日
変更のお知らせ

11月10日(土)に予定していたサタデー市長室は、12月22日(土)に変更になりました。会場・時間の変更はありません。 ●問合せ 総務課広報広聴係(内線213)

パブリックコメントを募集します
「新潟県後期高齢者医療に関する条例(仮称)」骨子(案)

新潟県後期高齢者医療広域連合では、「後期高齢者医療制度」の運営にあたり、基本となる条例の骨子(案)を作成しました。この骨子(案)について、パブリックコメントを募集します。みなさんのご意見をお寄せください。

- ◆意見の募集期間：～10月29日(月)(必着)
- ◆資料の閲覧場所：本庁介護国保課・各支所市民生活課、または広域連合ホームページ(<http://www.niigata-kouiki.jp>)
- ◆意見の提出方法： ①郵便(〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館本館内) ②FAX (025-285-3315) ③電子メール(jim02@niigata-kouiki.jp)
- ◆その他：パブリックコメントの結果の公表は、11月中旬に本庁介護国保課・各支所市民生活課での閲覧・配布及び広域連合ホームページで行います。
- ◆問合せ：新潟県後期高齢者医療広域連合総務課企画係 ☎025-285-3221

小・中学生が入院する際は市の窓口申請してください。 ●手続きに必要なもの ①印鑑、入院する子どもの保険証 ●受付窓口・問合せ 健康支援課地域医療係(内線127) または各支所健康福祉課

身体障害者の駐車禁止
除外指定車標準制度が
変わりました

10月から制度の内容が次のように変更になりました。 ①申請窓口が、十日町警察署交通課になりました ②標章は、車両の特

地域福祉に関するアンケート
にご協力ください

市では、地域福祉計画の策定にあたり、市民の皆さんの考えや意見を参考にするため、中学生以上の人3、000人を無作

よさこいだわ

▼先月16日から開催され街に彩りを添えてくれた「きもの町のキルト展」期間中は休日だけでなく平日も、女性グループがパンフレット片手に、商店街のウィンドウの中の商品を眺めている姿をよく目にしました。最近では、キルトのバリエーションも広がり、型にとられない個性豊かな作品は見ていて楽しいです。1針1針に作者の思いが込められた作品は、世界にひとつとして同じ物が無いことが、1番の魅力なのかもしれません。

▼世界陸上大阪大会でも活躍していた福士加代子選手に逢えるのを楽しみに、長距離カーニバルの取材に行きました。「笑顔の爆走娘」の走りを見られなかったのは残念ですが、あの福士スマイルは健在でした。



(優)

▼ウエスト回りが85cmを超えるとメタボリックシンドロームに注意。BMIが25超で肥満に注意。健康状態を具体的な数字で表すと目標が定めやすく、運動の習慣や食生活に気をつけなければ、市の方針がわかります。今号では、市の決算を掲載するとともに、合併後初めてのバランスシートなどの財務諸表を掲載しました。このため、例年より1か月遅れのお知らせとなりましたが、これらの諸表は、人間の健康診断と同じく、自治体の体質を知ろうと大変重要です。数字ばかりで、これらを単独でみるとピンときませんが、今後毎年の数字の変化をみたり、同規模の自治体と比較したりすると、十日町市の姿が見えてくる大切な指標です。



(鈴)



ららちゃんごぼへ



佐藤麟太郎さん（1年）

学校でかっているヤギの「ららちゃん」は葉っぱが大好き。学年のみんなが当番でエサをやったり散歩に連れて行ったりします。かわいいみんなの人気者です。



ばんえつ物語号



小堀琢矢さん（3年）

ぼくは、石炭や客車を引っ張って力強く走る機関車が大好きです。去年、機関車に乗れてうれしかったです。大きくなったら機関車の運転手になりたいです。



大変な田植え



山本明莉さん（5年）

5年生全員で田植えをしているところです。斜めに線を描いたり奥の色を薄くしたりして遠近感を出しました。収穫したお米を食べるのが楽しみだなあ。



イヤなことをみーんな食べてくれるゆめの魚



佐藤 翔さん（2年）

大きな海にすんでいて、子どもたちがイヤがっていることを食べてくれる魚です。目がするとくて、きばもあって強いんだ。いろんな紙を貼ってきれいにしました。



ジュニア芸術祭

28

十日町小学校



花火



石井奈々さん（4年）

大好きな猫がきれいな花火を見ています。今年の夏は、あまり見に行けなかったけど、家族や友達といっしょに花火ができたので楽しかったです。



『心』をくれた友達



登坂奈津美さん（6年）

無愛想な女子高生が、不思議な転校生と出あって、見る世界が変わるという話です。笑顔、友達、生きていることはどういことなのかを考えながら描きました。